

2023年4月20日

各 位

管理会社名 三菱UFJ信託銀行株式会社
(管理会社コード 15404)
代表者名 取締役社長 長島 巖
問合せ先 証券代行部 海外業務推進室
岡田 雄一
(TEL 0120-232-711)

第13期(2022年1月21日～2023年1月20日)信託財産状況報告書

三菱UFJ信託銀行株式会社を管理会社として上場する下記のETF銘柄について、信託財産状況報告書を開示致します。

掲載番号	銘柄	銘柄コード	上場取引所
1	<u>純金上場信託(現物国内保管型)</u>	1540	東
2	<u>純プラチナ上場信託(現物国内保管型)</u>	1541	東
3	<u>純銀上場信託(現物国内保管型)</u>	1542	東
4	<u>純パラジウム上場信託(現物国内保管型)</u>	1543	東

以 上

純金上場信託（現物国内保管型）

受益証券発行信託

信託契約第 21 条に基づく報告書 （信託財産状況報告書を含みます。）	受益者の皆様へ
第 13 期	平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。 受益証券発行信託「純金上場信託（現物国内保管型）」の左記 決算における運用状況をご報告申し上げます。 今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
2023 年 1 月 20 日現在	
2022 年 1 月 21 日～2023 年 1 月 20 日	

■受益証券発行信託の概要

商品名〔愛称〕	純金上場信託（現物国内保管型）〔愛称：金の果実〕
信託期間	信託設定の日から信託終了の日まで
委託者	三菱商事株式会社
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社
転換請求	居住者である受益者は、信託契約の定めに従って、小口指定転換販売会社または大口指定 転換販売会社を通じて、受託者に対し、その有する受益権の全部または一部を解約し、本 受益証券を当該受益証券が表章する受託金地金に転換することを請求することができます。 なお、転換による場合のほか、本信託を一部解約して金銭を受領することはできません。
信託財産	本信託財産は、金地金ならびにこれらに係る金銭等ならびに信託契約に基づいて受託者が 受領する金銭その他の財産により構成されますが、消費税の授受または信託報酬もしくは 信託費用の支払い等のために一時的に本信託財産となる金銭等を除き、金地金のみとなり ます。なお、受託者は、信託法および信託業法に従い、本信託財産を固有財産および他の 信託財産と分別して管理するものとし、また、受託者は受託金地金をカストディアン を通じて受託者が適切と判断する方法で分別して管理します。
信託財産の運用	受託者は、本信託財産の運用は行いませんが、東京証券取引所において開示される本受益 権の一口あたり純資産額は、仕組みとして指標価格に連動することが企図されています。
収益分配方法	原則として、信託期間中に分配は行いません。

■信託財産を構成する資産の内容

1、金地金

資産の種類	金地金
品質	信託契約に定める所定の要件（注1）を満たすもの
質量	25,229,884.163 g（2023年1月20日時点）（注2）
価格	136,349,086,345 円（2023年1月20日時点）（注3）
保管場所	サブ・カストディアンの倉庫（日本国内）

注1：純度が99.99%以上のものを指します。

注2：受託者は、信託報酬等の支払い等に必要限度で信託財産を構成する金地金を売却しますので、信託財産を構成する金地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する金地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する金地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

注3：計算期間末日（2023年1月20日）時点における金地金の総額（簿価）を記載しております。

2、金銭

資産の種類	金銭
価格	0 円（2023年1月20日現在）

※上記金銭は、受託者の銀行勘定で預かります。

■受益証券発行信託の状況

本信託の純資産総額	1口あたりの純資産額
136,293,342,266 円	5,119.12 円（注1）

注1：小数点第3位を四捨五入しております。

注2：決算日時点での状況です。日々の指標価格や一口あたりの純資産額は弊社ホームページ (<https://kikinzoku.tr.mufg.jp>) をご覧ください。

■取引の状況（自2022年1月21日至2023年1月20日）

1、信託の設定、解約

（千円未満切捨て）

設定		解約（注1）	
口数（単位：口）	金額（単位：千円）	口数（単位：口）	金額（単位：千円）
3,062,100	22,520,101	435,540	2,148,718

注1：解約は受益権の金地金への転換を意味します。

2、信託財産の売却

三菱商事 RtM ジャパン株式会社に対して信託財産を売却しました。詳細については、「3、利害関係人等との取引状況」に記載しております。

3、利害関係人等との取引状況

計算期間	2022年1月21日～2023年1月20日
取引の種類	信託業務の委託先と信託財産との間における取引
取引当事者の商号、名称又は氏名	三菱商事 RtM ジャパン株式会社
取引当事者の所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
当該利害関係人等と受託者との関係	信託業務の委託先本人
取引の方法	信託契約第23条の規定に基づく、受託金地金の売却取引
取引を行った年月日	<ul style="list-style-type: none"> ①2022年2月1日 ②2022年3月1日 ③2022年4月1日 ④2022年5月2日 ⑤2022年6月1日 ⑥2022年7月1日 ⑦2022年8月1日 ⑧2022年9月1日 ⑨2022年10月3日 ⑩2022年11月1日 ⑪2022年12月1日 ⑫2023年1月4日
取引に係る信託財産の種類その他の当該信託財産の特定のために必要な事項	動産
取引の対象となる資産又は権利の種類、銘柄、その他の取引の目的物の特定のために必要な事項	金地金
取引の目的物の数量	<ul style="list-style-type: none"> ①9,561.370g ②6,854.571g ③7,562.225g ④6,991.430g ⑤8,802.830g ⑥7,887.104g ⑦8,538.199g ⑧8,653.114g ⑨7,841.164g ⑩8,486.269g ⑪8,190.366g ⑫8,309.385g

取引価格	<p>金地金 1g あたりの取引価格は以下のとおりです。</p> <p>①6,622 円 ②6,991 円 ③7,562 円 ④7,847 円 ⑤7,563 円 ⑥7,746 円 ⑦7,451 円 ⑧7,589 円 ⑨7,713 円 ⑩7,770 円 ⑪7,759 円 ⑫7,718 円</p>
取引を行った理由	信託契約第 44 条第 1 項の規定に基づく信託報酬及び第 45 条第 1 項の規定に基づく信託費用の収受のため。
当該取引に関して受託者（信託業務の委託先を含む。）又はその利害関係人が手数料その他の報酬を得た場合には、その金額	該当ありません。
その他参考となる事項	該当ありません。

■資産、負債、元本、純資産価額および損益の状況

<貸借対照表>

当計算期間末（2023年1月20日）現在
（単位：千円）

資産の部		
流動資産		
未収消費税等		1,974,876
流動資産合計		1,974,876
固定資産		
投資その他の資産（※1）		136,349,086
固定資産合計		136,349,086
資産合計		138,323,963
負債の部		
流動負債		
未払金		61,325
仮受金		1,969,295
流動負債合計		2,030,620
負債合計		2,030,620
純資産の部		
元本等		
元本		138,686,437
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		△ 2,393,095
利益剰余金合計		△ 2,393,095
元本等合計		136,293,342
純資産合計		136,293,342
負債純資産合計		138,323,963

※1 投資その他の資産は、信託契約第7条に定める本信託の信託財産である金地金であります。

<損益計算書（※1）>

当計算期間（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

（単位：千円）

営業収益	
その他の事業収益（※2）	224,432
営業収益合計	224,432
営業費用	
受託者報酬	723,345
その他費用	18,762
営業費用合計	742,107
営業損失（△）	△ 517,674
営業外収益	
受取利息	0
営業外収益合計	0
経常損失（△）	△ 517,674
税引前当期純損失（△）	△ 517,674
当期純損失（△）	△ 517,674

※1 本損益計算書は、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律施行規則第19条第2項に定める「収支計算書」を兼ねております。

※2 その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

■信託財産の銀行勘定における運用

取引日（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

（単位：千円）

資産種類	期末残高	平均残高
銀行勘定貸	0	34,870

※受託者所定の普通預金金利で付利しております。

■収益の分配の状況について

分配金はありません。

■信託財産の価額の推移

日付	一口あたりの信託財産の価額（単位：円）
2022年1月31日	6,327.13
2022年2月28日	6,738.81
2022年3月31日	7,166.13
2022年4月28日	7,458.47
2022年5月31日	7,240.99
2022年6月30日	7,566.16
2022年7月29日	7,180.07
2022年8月31日	7,290.30
2022年9月30日	7,362.75
2022年10月31日	7,410.41
2022年11月30日	7,409.78
2022年12月30日	7,356.08

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）

受益証券発行信託

信託契約第 21 条に基づく報告書 （信託財産状況報告書を含みます。）	受益者の皆様へ
第 13 期	平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。 受益証券発行信託「純プラチナ上場信託（現物国内保管型）」 の左記決算における運用状況をご報告申し上げます。 今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
2023 年 1 月 20 日現在	
2022 年 1 月 21 日～2023 年 1 月 20 日	

■受益証券発行信託の概要

商品名〔愛称〕	純プラチナ上場信託（現物国内保管型）〔愛称：プラチナの果実〕
信託期間	信託設定の日から信託終了の日まで
委託者	三菱商事株式会社
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社
転換請求	居住者である受益者は、信託契約の定めに従って、小口指定転換販売会社または大口指定転換販売会社を通じて、受託者に対し、その有する受益権の全部または一部を解約し、本受益証券を当該受益証券が表章する受託プラチナ地金に転換することを請求することができます。なお、転換による場合のほか、本信託を一部解約して金銭を受領することはできません。
信託財産	本信託財産は、プラチナ地金ならびにこれらに係る金銭等ならびに信託契約に基づいて受託者が受領する金銭その他の財産により構成されますが、消費税の授受または信託報酬もしくは信託費用の支払い等のために一時的に本信託財産となる金銭等を除き、プラチナ地金のみとなります。なお、受託者は、信託法および信託業法に従い、本信託財産を固有財産および他の信託財産と分別して管理するものとします。また、受託者は受託プラチナ地金をカストディアンを通じて受託者が適切と判断する方法で分別して管理します。
信託財産の運用	受託者は、本信託財産の運用は行いませんが、東京証券取引所において開示される本受益権の一口あたり純資産額は、仕組みとして指標価格に連動することが企図されています。
収益分配方法	原則として、信託期間中に分配は行いません。

■信託財産を構成する資産の内容

1、プラチナ地金

資産の種類	プラチナ地金
品質	信託契約に定める所定の要件（注1）を満たすもの
質量	3,005,969.934 g（2023年1月20日時点）（注2）
価格	9,895,015,038 円（2023年1月20日時点）（注3）
保管場所	サブ・カストディアンの倉庫（日本国内）

注1：純度が99.95%以上のものを指します。

注2：受託者は、信託報酬等の支払い等に必要の限度で信託財産を構成するプラチナ地金を売却しますので、信託財産を構成するプラチナ地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成するプラチナ地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成するプラチナ地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

注3：計算期間末日（2023年1月20日）時点におけるプラチナ地金の総額（簿価）を記載しております。

2、金銭

資産の種類	金銭
価格	373,962,536 円（2023年1月20日現在）

※上記金銭は、受託者の銀行勘定で預かります。

■受益証券発行信託の状況

本信託の純資産総額	1口あたりの純資産額
9,889,481,440 円	3,057.43 円（注1）

注1：小数点第3位を四捨五入しております。

注2：決算日時点での状況です。日々の指標価格や一口あたりの純資産額は弊社ホームページ（<https://kikinzoku.tr.mufg.jp>）をご覧ください。

■取引の状況（自2022年1月21日至2023年1月20日）

1、信託の設定、解約

（千円未満切捨て）

設定		解約（注1）	
口数（単位：口）	金額（単位：千円）	口数（単位：口）	金額（単位：千円）
0	0	903,073	2,831,136

注1：解約は受益権のプラチナ地金への転換を意味します。

2、信託財産の売却

三菱商事 RtM ジャパン株式会社に対して信託財産を売却しました。詳細については、「3、利害関係人等との取引状況」に記載しております。

3、利害関係人等との取引状況

計算期間	2022年1月21日～2023年1月20日
取引の種類	信託業務の委託先と信託財産との間における取引
取引当事者の商号、名称又は氏名	三菱商事 RtM ジャパン株式会社
取引当事者の所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
当該利害関係人等と受託者との関係	信託業務の委託先本人
取引の方法	信託契約第23条の規定に基づく、受託プラチナ地金の売却取引
取引を行った年月日	<ul style="list-style-type: none"> ①2022年2月1日 ②2022年3月1日 ③2022年4月1日 ④2022年5月2日 ⑤2022年6月1日 ⑥2022年7月1日 ⑦2022年8月1日 ⑧2022年9月1日 ⑨2022年10月3日 ⑩2022年11月1日 ⑪2022年12月1日 ⑫2023年1月4日
取引に係る信託財産の種類その他の当該信託財産の特定のために必要な事項	動産
取引の対象となる資産又は権利の種類、銘柄、その他の取引の目的物の特定のために必要な事項	プラチナ地金
取引の目的物の数量	<ul style="list-style-type: none"> ①1,914.327 g ②1,517.181 g ③1,716.163 g ④1,515.186 g ⑤1,914.301 g ⑥1,757.821g ⑦1,687.137g ⑧1,713.767g ⑨1,514.289g ⑩1,477.529g ⑪1,385.994g ⑫1,221.303g

取引価格	<p>プラチナ地金 1 g あたりの取引価格は以下のとおりです。</p> <p>①3,798 円</p> <p>②3,845 円</p> <p>③3,873 円</p> <p>④3,902 円</p> <p>⑤4,040 円</p> <p>⑥3,887 円</p> <p>⑦3,870 円</p> <p>⑧3,837 円</p> <p>⑨4,016 円</p> <p>⑩4,439 円</p> <p>⑪4,545 円</p> <p>⑫4,509 円</p>
取引を行った理由	信託契約第 44 条第 1 項の規定に基づく信託報酬及び第 45 条第 1 項の規定に基づく信託費用の収受のため。
当該取引に関して受託者（信託業務の委託先を含む。）又はその利害関係人が手数料その他の報酬を得た場合には、その金額	該当ありません。
その他参考となる事項	該当ありません。

■資産、負債、元本、純資産価額および損益の状況

<貸借対照表>

当計算期間末（2023年1月20日）現在
（単位：千円）

資産の部	
流動資産	
銀行勘定貸	373,962
流動資産合計	373,962
固定資産	
投資その他の資産（※1）	9,895,015
固定資産合計	9,895,015
資産合計	10,268,977
負債の部	
流動負債	
未払金	6,094
未払消費税等	373,401
流動負債合計	379,496
負債合計	379,496
純資産の部	
元本等	
元本	10,140,400
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	△ 250,919
利益剰余金合計	△ 250,919
元本等合計	9,889,481
純資産合計	9,889,481
負債純資産合計	10,268,977

※1 投資その他の資産は、信託契約第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。

<損益計算書(※1)>

当計算期間(自 2022年1月21日 至 2023年1月20日)

(単位:千円)

営業収益	
その他の事業収益(※2)	14,149
営業収益合計	14,149
営業費用	
受託者報酬	74,130
その他費用	3,077
営業費用合計	77,208
営業損失(△)	△ 63,058
営業外収益	
受取利息	2
営業外収益合計	2
経常損失(△)	△ 63,056
税引前当期純損失(△)	△ 63,056
当期純損失(△)	△ 63,056

※1 本損益計算書は、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律施行規則第19条第2項に定める「収支計算書」を兼ねております。

※2 その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

■信託財産の銀行勘定における運用

取引日(自 2022年1月21日 至 2023年1月20日)

(単位:千円)

資産種類	期末残高	平均残高
銀行勘定貸	373,962	229,615

※受託者所定の普通預金金利で付利しております。

■収益の分配の状況について

分配金はありません。

■信託財産の価額の推移

日付	一口あたりの信託財産の価額 (単位:円)
2022年1月31日	3,574.38
2022年2月28日	3,717.64
2022年3月31日	3,660.85
2022年4月28日	3,627.62
2022年5月31日	3,789.08
2022年6月30日	3,845.19
2022年7月29日	3,697.27
2022年8月31日	3,633.05
2022年9月30日	3,809.19
2022年10月31日	4,171.19
2022年11月30日	4,225.13
2022年12月30日	4,206.62

純銀上場信託（現物国内保管型）

受益証券発行信託

信託契約第 21 条に基づく報告書 (信託財産状況報告書を含みます。)	受益者の皆様へ
第 13 期	平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。 受益証券発行信託「純銀上場信託（現物国内保管型）」の左記 決算における運用状況をご報告申し上げます。 今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
2023 年 1 月 20 日現在	
2022 年 1 月 21 日～2023 年 1 月 20 日	

■受益証券発行信託の概要

商品名〔愛称〕	純銀上場信託（現物国内保管型）〔愛称：銀の果実〕
信託期間	信託設定の日から信託終了の日まで
委託者	三菱商事株式会社
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社
転換請求	居住者である受益者は、信託契約の定めに従って、大口指定転換販売会社を通じて、受託者に対し、その有する受益権の全部または一部を解約し、本受益証券を当該受益証券が表章する受託銀地金に転換することを請求することができます。なお、転換による場合のほか、本信託を一部解約して金銭を受領することはできません。
信託財産	本信託財産は、銀地金ならびにこれらに係る金銭等ならびに信託契約に基づいて受託者が受領する金銭その他の財産により構成されますが、消費税の授受または信託報酬もしくは信託費用の支払い等のために一時的に本信託財産となる金銭等を除き、銀地金のみとなります。なお、受託者は、信託法および信託業法に従い、本信託財産を固有財産および他の信託財産と分別して管理するものとします。また、受託者は受託銀地金をカストディアンを通じて受託者が適切と判断する方法で分別して管理します。
信託財産の運用	受託者は、本信託財産の運用は行いませんが、東京証券取引所において開示される本受益権の一口あたり純資産額は、仕組みとして指標価格に連動することが企図されています。
収益分配方法	原則として、信託期間中に分配は行いません。

■信託財産を構成する資産の内容

1、銀地金

資産の種類	銀地金
品質	信託契約に定める所定の要件（注1）を満たすもの
質量	91,370,263.199 g（2023年1月20日時点）（注2）
価格	7,008,498,494 円（2023年1月20日時点）（注3）
保管場所	サブ・カストディアンの倉庫（日本国内）

注1：純度が99.99%以上のものを指します。

注2：受託者は、信託報酬等の支払い等に必要限度で信託財産を構成する銀地金を売却しますので、信託財産を構成する銀地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する銀地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する銀地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

注3：計算期間末日（2023年1月20日）時点における銀地金の総額（簿価）を記載しております。

2、金銭

資産の種類	金銭
価格	0 円（2023年1月20日現在）

※上記金銭は、受託者の銀行勘定で預かります。

■受益証券発行信託の状況

本信託の純資産総額	1口あたりの純資産額
7,004,844,287 円	7,135.42 円（注1）

注1：小数点第3位を四捨五入しております。

注2：決算日時点での状況です。日々の指標価格や一口あたりの純資産額は弊社ホームページ（<https://kikinzoku.tr.mufg.jp>）をご覧ください。

■取引の状況（自2022年1月21日至2023年1月20日）

1、信託の設定、解約

（千円未満切捨て）

設定		解約（注1）	
口数（単位：口）	金額（単位：千円）	口数（単位：口）	金額（単位：千円）
177,000	1,449,294	145,500	1,068,030

注1：解約は受益権の銀地金への転換を意味します。

2、信託財産の売却

三菱商事 RtM ジャパン株式会社に対して信託財産を売却しました。詳細については、「3、利害関係人等との取引状況」に記載しております。

3、利害関係人等との取引状況

計算期間	2022年1月21日～2023年1月20日
取引の種類	信託業務の委託先と信託財産との間における取引
取引当事者の商号、名称又は氏名	三菱商事 RtM ジャパン株式会社
取引当事者の所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
当該利害関係人等と受託者との関係	信託業務の委託先本人
取引の方法	信託契約第23条の規定に基づく、受託銀地金の売却取引
取引を行った年月日	<ul style="list-style-type: none"> ①2022年2月1日 ②2022年3月1日 ③2022年4月1日 ④2022年5月2日 ⑤2022年6月1日 ⑥2022年7月1日 ⑦2022年8月1日 ⑧2022年9月1日 ⑨2022年10月3日 ⑩2022年11月1日 ⑪2022年12月1日 ⑫2023年1月4日
取引に係る信託財産の種類その他の当該信託財産の特定のために必要な事項	動産
取引の対象となる資産又は権利の種類、銘柄、その他の取引の目的物の特定のために必要な事項	銀地金
取引の目的物の数量	<ul style="list-style-type: none"> ①48,258.497g ②34,011.280g ③38,582.158g ④37,673.105g ⑤52,400.539g ⑥46,996.582g ⑦47,724.804g ⑧47,016.312g ⑨41,374.084g ⑩47,788.624g ⑪47,257.616g ⑫43,584.309g

取引価格	<p>銀地金 100g あたりの取引価格は以下のとおりです。</p> <p>①8,115 円</p> <p>②8,706 円</p> <p>③9,494 円</p> <p>④9,511 円</p> <p>⑤8,734 円</p> <p>⑥8,338 円</p> <p>⑦7,652 円</p> <p>⑧7,706 円</p> <p>⑨8,620 円</p> <p>⑩8,711 円</p> <p>⑪9,159 円</p> <p>⑫9,062 円</p>
取引を行った理由	信託契約第 44 条第 1 項の規定に基づく信託報酬及び第 45 条第 1 項の規定に基づく信託費用の収受のため。
当該取引に関して受託者（信託業務の委託先を含む。）又はその利害関係人が手数料その他の報酬を得た場合には、その金額	該当ありません。
その他参考となる事項	該当ありません。

■資産、負債、元本、純資産価額および損益の状況

<貸借対照表>

当計算期間末（2023年1月20日）現在
（単位：千円）

資産の部		
流動資産		
未収消費税等		19,075
流動資産合計		19,075
固定資産		
投資その他の資産（※1）		7,008,498
固定資産合計		7,008,498
資産合計		7,027,573
負債の部		
流動負債		
未払金		4,025
仮受金		18,703
流動負債合計		22,729
負債合計		22,729
純資産の部		
元本等		
元本		7,206,089
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		△ 201,244
利益剰余金合計		△ 201,244
元本等合計		7,004,844
純資産合計		7,004,844
負債純資産合計		7,027,573

※1 投資その他の資産は、信託契約第7条に定める本信託の信託財産である銀地金であります。

<損益計算書（※1）>

当計算期間（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

（単位：千円）

営業収益	
その他の事業収益（※2）	5,393
営業収益合計	5,393
営業費用	
受託者報酬	43,682
その他費用	2,198
営業費用合計	45,880
営業損失（△）	△ 40,487
営業外収益	
受取利息	0
営業外収益合計	0
経常損失（△）	△ 40,487
税引前当期純損失（△）	△ 40,487
当期純損失（△）	△ 40,487

※1 本損益計算書は、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律施行規則第19条第2項に定める「収支計算書」を兼ねております。

※2 その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

■信託財産の銀行勘定における運用

取引日（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

（単位：千円）

資産種類	期末残高	平均残高
銀行勘定貸	0	40,244

※受託者所定の普通預金金利で付利しております。

■収益の分配の状況について

分配金はありません。

■信託財産の価額の推移

日付	一口あたりの信託財産の価額 (単位:円)
2022年1月31日	7,776.79
2022年2月28日	8,476.81
2022年3月31日	9,092.63
2022年4月28日	9,169.13
2022年5月31日	8,411.92
2022年6月30日	8,467.84
2022年7月29日	7,630.96
2022年8月31日	7,383.58
2022年9月30日	7,994.50
2022年10月31日	8,375.65
2022年11月30日	8,587.03
2022年12月30日	8,781.50

純パラジウム上場信託（現物国内保管型）

受益証券発行信託

信託契約第 21 条に基づく報告書 (信託財産状況報告書を含みます。)	受益者の皆様へ
第 13 期	平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。 受益証券発行信託「純パラジウム上場信託（現物国内保管型）」 の左記決算における運用状況をご報告申し上げます。 今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
2023 年 1 月 20 日現在	
2022 年 1 月 21 日～2023 年 1 月 20 日	

■受益証券発行信託の概要

商品名〔愛称〕	純パラジウム上場信託（現物国内保管型）〔愛称：パラジウムの果実〕
信託期間	信託設定の日から信託終了の日まで
委託者	三菱商事株式会社
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社
転換請求	居住者である受益者は、信託契約の定めに従って、大口指定転換販売会社を通じて、受託者に対し、その有する受益権の全部または一部を解約し、本受益証券を当該受益証券が表章する受託パラジウム地金に転換することを請求することができます。なお、転換による場合のほか、本信託を一部解約して金銭を受領することはできません。
信託財産	本信託財産は、パラジウム地金ならびにこれらに係る金銭等ならびに信託契約に基づいて受託者が受領する金銭その他の財産により構成されますが、消費税の授受または信託報酬もしくは信託費用の支払い等のために一時的に本信託財産となる金銭等を除き、パラジウム地金のみとなります。なお、受託者は、信託法および信託業法に従い、本信託財産を固有財産および他の信託財産と分別して管理するものとし、また、受託者は受託パラジウム地金をカストディアンを通じて受託者が適切と判断する方法で分別して管理します。
信託財産の運用	受託者は、本信託財産の運用は行いませんが、東京証券取引所において開示される本受益権の一口あたり純資産額は、仕組みとして指標価格に連動することが企図されています。
収益分配方法	原則として、信託期間中に分配は行いません。

■信託財産を構成する資産の内容

1、パラジウム地金

資産の種類	パラジウム地金
品質	信託契約に定める所定の要件（注1）を満たすもの
質量	262,288.972 g（2023年1月20日時点）（注2）
価格	1,584,451,301円（2023年1月20日時点）（注3）
保管場所	サブ・カストディアンの倉庫（日本国内）

注1：純度が99.95%以上のものを指します。

注2：受託者は、信託報酬等の支払い等に必要の限度で信託財産を構成するパラジウム地金を売却しますので、信託財産を構成するパラジウム地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成するパラジウム地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成するパラジウム地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

注3：計算期間末日（2023年1月20日）時点におけるパラジウム地金の総額（簿価）を記載しております。

2、金銭

資産の種類	金銭
価格	1円（2023年1月20日現在）

※上記金銭は、受託者の銀行勘定で預かります。

■受益証券発行信託の状況

本信託の純資産総額	1口あたりの純資産額
1,583,048,798円	55,260.54円（注1）

注1：小数点第3位を四捨五入しております。

注2：決算日時点での状況です。日々の指標価格や一口あたりの純資産額は弊社ホームページ（<https://kikinzoku.tr.mufg.jp>）をご覧ください。

■取引の状況（自2022年1月21日至2023年1月20日）

1、信託の設定、解約

（千円未満切捨て）

設定		解約（注1）	
口数（単位：口）	金額（単位：千円）	口数（単位：口）	金額（単位：千円）
3,100	241,049	1,100	58,987

注1：解約は受益権のパラジウム地金への転換を意味します。

2、信託財産の売却

三菱商事 RtM ジャパン株式会社に対して信託財産を売却しました。詳細については、「3、利害関係人等との取引状況」に記載しております。

3、利害関係人等との取引状況

計算期間	2022年1月21日～2023年1月20日
取引の種類	信託業務の委託先と信託財産との間における取引
取引当事者の商号、名称又は氏名	三菱商事 RtM ジャパン株式会社
取引当事者の所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
当該利害関係人等と受託者との関係	信託業務の委託先本人
取引の方法	信託契約第23条の規定に基づく、受託パラジウム地金の売却取引
取引を行った年月日	<ul style="list-style-type: none"> ①2022年2月1日 ②2022年3月1日 ③2022年4月1日 ④2022年5月2日 ⑤2022年6月1日 ⑥2022年7月1日 ⑦2022年8月1日 ⑧2022年9月1日 ⑨2022年10月3日 ⑩2022年11月1日 ⑪2022年12月1日 ⑫2023年1月4日
取引に係る信託財産の種類その他の当該信託財産の特定のために必要な事項	動産
取引の対象となる資産又は権利の種類、銘柄、その他の取引の目的物の特定のために必要な事項	パラジウム地金
取引の目的物の数量	<ul style="list-style-type: none"> ①103.500g ②90.845g ③120.225g ④88.621g ⑤183.899g ⑥124.065g ⑦129.387g ⑧120.040g ⑨107.615g ⑩126.980g ⑪160.233g

	⑫112.066g
取引価格	<p>パラジウム地金 10g あたりの取引価格は以下のとおりです。</p> <p>①86,123 円</p> <p>②90,035 円</p> <p>③89,498 円</p> <p>④99,322 円</p> <p>⑤83,157 円</p> <p>⑥86,340 円</p> <p>⑦88,006 円</p> <p>⑧91,918 円</p> <p>⑨97,785 円</p> <p>⑩89,724 円</p> <p>⑪82,680 円</p> <p>⑫75,969 円</p>
取引を行った理由	信託契約第 44 条第 1 項の規定に基づく信託報酬及び第 45 条第 1 項の規定に基づく信託費用の收受のため。
当該取引に関して受託者（信託業務の委託先を含む。）又はその利害関係人が手数料その他の報酬を得た場合には、その金額	該当ありません。
その他参考となる事項	該当ありません。

■資産、負債、元本、純資産価額および損益の状況

<貸借対照表>

当計算期間末（2023年1月20日）現在
（単位：千円）

資産の部	
流動資産	
銀行勘定貸	0
未収消費税等	14,151
流動資産合計	14,151
固定資産	
投資その他の資産（※1）	1,584,451
固定資産合計	1,584,451
資産合計	1,598,602
負債の部	
流動負債	
未払金	1,547
仮受金	14,006
流動負債合計	15,554
負債合計	15,554
純資産の部	
元本等	
元本	1,611,004
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	△ 27,955
利益剰余金合計	△ 27,955
元本等合計	1,583,048
純資産合計	1,583,048
負債純資産合計	1,598,602

※1 投資その他の資産は、信託契約第7条に定める本信託の信託財産であるパラジウム地金であります。

<損益計算書(※1)>

当計算期間(自 2022年1月21日 至 2023年1月20日)

(単位:千円)

営業収益	
その他の事業収益(※2)	4,129
営業収益合計	4,129
営業費用	
受託者報酬	11,527
その他費用	1,433
営業費用合計	12,961
営業損失(△)	△ 8,832
営業外収益	
営業外収益合計	-
経常損失(△)	△ 8,832
税引前当期純損失(△)	△ 8,832
当期純損失(△)	△ 8,832

※1 本損益計算書は、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律施行規則第19条第2項に定める「収支計算書」を兼ねております。

※2 その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

■信託財産の銀行勘定における運用

取引日(自 2022年1月21日 至 2023年1月20日)

(単位:千円)

資産種類	期末残高	平均残高
銀行勘定貸	1	0

※受託者所定の普通預金金利で付利しております。

■収益の分配の状況について

分配金はありません。

■信託財産の価額の推移

日付	一口あたりの信託財産の価額 (単位:円)
2022年1月31日	81,040.49
2022年2月28日	84,722.17
2022年3月31日	81,347.54
2022年4月28日	84,776.52
2022年5月31日	77,765.70
2022年6月30日	80,730.83
2022年7月29日	82,244.56
2022年8月31日	85,835.89
2022年9月30日	91,295.55
2022年10月31日	83,733.19
2022年11月30日	77,117.94
2022年12月30日	70,819.58